

物価高騰に対し、 香取市独自の支援策を

Q キャッシュレスポイント還元事業の実績と効果は。

A 令和5年11月実施の第1弾は20%、令和6年2月実施の第2弾は30%の還元率で実施しました。還元額合計は、5048万422円で、対象キャッシュレスを利用した決済額は、キャンペーン期間直前の同期間と比較し最大で691%の伸びを示し、市内での消費拡大に一定の成果があったと考えています。

Q プレミアム付商品券事業の実績と効果は。

A 令和4年度に実施したプレミアム付商品券発行事業による消費額は1億942万8千円で、地域における経済効果が一定程度あったと考えています。

Q 物価高騰対策として、経済対策を行う計画があるのか。

A 今後、市民等のニーズを踏まえ、国からの交付金等、有利な財源が活用できれば、実施の検討をしたいと考えています。

地域防災医療の重要性

Q 災害時における医療活動等の体制は。

A 地域防災計画では、重傷者への対応を優先することなど、大規模災害時に、香取市が行う救助・救急活動の原則を明記しているほか、市、県、消防本部、医師会等が相互に連携し、医療救護体制を構築することとしています。

Q 医療施設や薬局との連携強化に向けた具体的な取り組みは。

A 香取保健所が設置した香取保健所管内市町と地域の医師会・薬剤師会等の医療関係者などで構成する「香取地域災害医療対策会議」で平成28年3月に制定された「香取地域災害医療実働マニュアル」では、災害発生時に、迅速な医療対策を実施するため、香取地域合同救護本部の設置や関係機関の具体的な役割や連携内容が示されています。



ふじ き ひろのり
藤木 裕士 議員

医療費の削減の取り組みは

Q 香取市の取り組みを具体的に。

A 生活習慣病予防のための特定健康診査及び特定保健指導や、その健診結果から重症化予防のための腎臓予防教室などを実施しています。また、ジェネリック医薬品の普及啓発で、「ジェネリック医薬品希望シール」の配付やジェネリック医薬品への切り替えで薬代の負担が減る被保険者に差額通知を年2回送付し、医療費の削減に取り組んでいます。

Q 節薬バッグの成果と今後は。

A 節薬バッグは、処方通りに内服することへの意識づけや残薬について声かけのきっかけになったと認識しています。今後も切れ目ない在宅医療と介護の提供体制を構築し、高齢者等への正しい服薬管理の啓発も行いたいと考えています。

※節薬バッグ：余った薬を薬局に持参してもらうためのエコバッグ

バス事業者撤退後の 移動手段確保は

Q 香取市から千葉交通が撤退する理由は何。

A 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活様式の変化や交通事業者の運転手不足の影響が路線バスの減便という形で顕在化し、令和6年4月の労働基準法の一部改正に伴う運送業における働き方改革が実施されたことから、さらに現在の公共交通体系の維持が困難な状況となっています。

Q 路線バス・代替バス・循環バスに代わる移動手段はどうなるのか。

A 公共交通の課題や変化に対応し、市民の移動手段を確保することを目的に、公共交通拠点と各地域の連携強化による利便性の高い公共交通網の構築を基本理念とした「香取市地域公共交通計画」を令和6年3月に策定し、計画に基づき公共交通の再編に取り組んでいます。令和6年10月の公共交通の再編では、廃止となる路線をワゴン車を使用して代替することにより、移動の足を確保します。

香取市全域で 乗り合いタクシーの実施を

Q 自宅から目的地まで予約により移動できる乗り合いタクシーの実施地区は。

A 山田地区、栗源地区、佐原の一部地区で自宅周辺から目的地まで乗降できるデマンド交通の運行を開始し、市内の移動のしやすさの向上を図ります。

Q 香取市全域を乗り合いタクシーが実施できないのはなぜか。

A 今回の公共交通の再編は、大きな変更を伴うものであり、交通事業者との調整が必要であるため、10月1日からの運行状況を見て、いろいろと課題も整理しながら検討していきたいと考えています。

Q 現在の香取市高齢者事業（高齢者タクシー券）の対象は。

A 香取市福祉タクシー事業では、高齢者と障がい者と両方を対象としています。



く ぼ き そういち
久保木 宗一 議員

Q 乗り合いタクシーエリア外の高齢者と高校生には足が必要なので、福祉タクシー事業として、タクシー券等の補助をして、公平性を保つてはどうか。

A 福祉タクシー事業については、新たなデマンド交通の運行状況も踏まえながら、今後の事業内容を検討しているところですが。

意見 自宅から目的地まで移動できる乗り合いタクシー導入の公共交通計画をバス事業者やタクシー事業者に遠慮して作ってこなかった責任がある。公共交通空白地区、新たに空白地区になる地域住民のためのタクシー券の発行増額を実施すべきである。さらにタクシー事業者の同意が得られないのなら、他の観光バス事業者等、民間事業者に依頼し、それがダメなら香取市が直接運転手を雇用し、香取市全域で乗り合いタクシーを早急に実施すべき。